

聖霊降臨後第22主日 2023年10月22日

<特 禱>

主よ、どうかみ民の罪を赦し、豊かな恵みにより、弱さのために犯した罪の束縛から解放してください。天の父よ。救い主イエス・キリストのいさおによって」お願いいたします。アーメン

<聖 書> マタイ22：15～22

<メッセージ> 神さまのものは神さまに返しなさい

父と子と聖霊の御名によって アーメン

ファリサイ派の人々が、主イエスを罠にかけるために出てきます。その時、日ごろ仲の悪かったヘロデ派の人々とも手を組んで、主イエスのもとにやってきました。「先生、わたしたちは、あなたが真実な方で、真理に基づいて神の道を教え、誰をもはばからない方であることを知っています。人々を分け隔てなさらないからです。」主イエスは、まことにそういうお方なのですが、彼らがそのように思っていたかということ、疑わしいですね。

彼らは核心に入っていきます。「ところで、どうお思いでしょうか、お教えてください。皇帝に税金を納めるのは律法に適っているでしょうか。適っていないでしょうか。」なかなか狡猾な罠です。

当時使われていたデナリオン銀貨には、皇帝ティベリウスの像と「崇拝すべき神の、崇拝すべき子、カイザル（皇帝）・ティベリウス」と刻まれていました。ユダヤを支配していたローマ帝国は、皇帝を神とし、神格化し、崇拝し、人々に服従するよう強要していました。皇帝に税金を納めることは、異郷の神にささげものをするのと同じことでした。ですから、主イエスが「適っている」とお答えになったら、皇帝崇拝を認めているとして、民衆から非難されるでしょう。民衆はローマ皇帝に税金を強制されることが、内心イヤでイヤでたまらなかつたのです。反感が主イエスに向くでしょう。

一方、もし「適っていない」、税金を払う必要がないと言えば、ヘロデ派の人々が権力側に訴えるでしょう。当時ユダヤを治めていたヘロデは、ローマ帝国から

命じられて治めていました。ヘロデを支持するヘロデ派は、ローマ当局に訴えて、主イエスをローマ帝国に反逆する者としたでしょう。どちらをとっても、主イエスが、窮地に陥るように仕組まれていました。

さて、主イエスは、どうされたでしょうか。納税に使う銀貨をもってくるように言い、「これは誰の肖像と銘か」と問われました。彼らが、「皇帝のもので」と答えると、主イエスは、「皇帝のものは皇帝に、神のものは神に返しなさい。」と言われました。この見事な答えに、ファリサイ派もヘロデ派も舌を巻いて帰って行きました。キリスト教の信仰からしますと、この世界は、神さまが創造された世界です。世界のあらゆるものは神さまのものです。私たちひとり一人も神さまのものです。ですから、私たちは「神のものは神に返していく」という、「神のものは神にお返ししていく」という姿勢をもつものであります。（献金の時、「すべてのものは主の賜物。わたしたちは主から受けて主に献げたのです。」と歌い、応答します。）

私の体も神さまのもので、いつの日か神さまのもとに帰って行く日が来ます。

死に臨む時、神さまに私の体をお返すのであります。その日まで、私たちは、神さまにお返ししていくという心を忘れずに、生きていきたいと思いません。

聖歌 323番 の詩を聴きましょう。

- 1、この世はみな 神の世界 あめつちすべてが 歌いかわす  
岩も木々も 空も海も み神の みわざをほめたたえる
- 2、この世はみな 神の世界 鳥の音 花の香 主をたたえる  
朝日 夕日 空に映えて み神の みわざを 語りつげる

しかし、今パレスチナで大変なことが起こっています。ハマスとイスラエルの戦争です。ガザのアハリ・アラブ・聖公会病院で大惨劇が起きました。ユダヤ教もキリスト教も、イスラム教も、もとをただせば兄弟姉妹の宗教です。神さまによって世界は創造されたと信じる宗教で、皆、神さまのもの、皆神さまがお創りになったものです。それが憎しみ合い、殺し合うとは、なんと悲しいことでしょうか。まずは、銃をおいて、戦争を終わらせることが第1のことです。

皆様とあきらめることなく、平和を求めてお祈りしましょう。

皆で心を合わせてお祈りします。

<ウクライナとロシアの人々のため、平和を求める祈り>

<パレスチナとイスラエルの人々のため 平和を求める祈り>

正義と平和の神よ、

わたしたちは今日、ウクライナとロシアの人々のために、またパレスチナとイ

スラエルの人々のためにも祈ります。  
そして、わたしたちは平和のために、そして武器が置かれますよう祈ります。  
明日を恐れるすべての人々に、あなたの慰めの霊が寄り添ってくださいますように。  
平和や戦争を支配する力を持つ人々が、知恵と見識と思いやりによって、  
み旨に適う決断へと導かれますように。  
そして何よりも、危険にさらされ、恐怖の中にいるあなたの大切な子どもたち  
を、あなたが抱き守ってくださいますように。  
平和の君、主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン。

<黙想しましょう。>

大阪教区成立100周年の年、わたしたちが聖霊の働きに心を開き、神の御力が大阪教区に豊かに注がれますように。教区婦人会100周年を憶えて  
この社会にあって、居場所がなく、生きづらさを感じている人々のため  
新型コロナウイルス感染症の収束のため

戦争に苦しむ人々のため 特にスーダン、ミャンマーの人々 ほか  
世界各地の災害（地震、洪水、山火事、台風）犠牲者・被災者を憶えて  
<主の祈り>

主イエスが教えられたように祈りましょう。

天におられるわたしたちの父よ、  
み名が聖とされますように。  
み国が来ますように。  
みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。  
わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。  
わたしたちの罪をおゆるしください。わたしたちも人をゆるします。  
わたしたちを誘惑におちいらせず、  
悪からお救いください。  
国と力と栄光は、永遠にあなたのものです アーメン

<祝祷>

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、わたしたちとともにありますように。アーメン